

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 武田 時昌				
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	木2	授業形態	特殊講義
題目	類書 of 思想史的考察								
【授業の概要・目的】									
<p>中国では膨大な量の書物が著述されたが、そのなかで類書と総称される書物群は、様々な書物から語句や文章を抄出して類別したものであり、異色の存在である。その用途は、皇帝が社会的教養を学ぶ帝王学の書であったり、詩文作成のための情報ツールとして活用されたり、あるいは庶民の生活便利帳だったり、多種多様であるが、そこに中国的な「知」のあり方を具体的に窺うことができる。そこで、類書の思想史的考察を通して、中国的教養の特色を構造的に把握し、かつての日本人の教養基盤を明確にし、漢籍が文化形成に与えた影響を考える。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>本年度は、類書の構造的な特色を概観した後に、主要な著作を取り上げて、内容的な特色を窺い、それがどのように読まれたのかを検討する。とりわけ、年中行事として今日に至るまで受け継がれてきた習俗の記述にスポットを当て、その社会的、思想的背景を明らかにし、東アジア世界の伝統文化が形成され、継承されていくことに構造的な把握を試みたい。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点（出席よりも自主レポート等の学習意欲を重視する）。レポート課題の総合テーマは「東アジア伝統文化の実像と虚像」または「中国的なるもの 漢籍文化圏形成考」である）									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
<p>旺盛な好奇心と豊かな発想による多種多様な読書活動を通して、文献読解と哲学的思索の界域を自由遊泳することを要望する</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									